

1 ケイ酸マグネシウム

2 純度試験(5)の項を次のように改める。

3 純度試験

4 (5) 鉛 本品5.0 gをビーカーにとり、薄めた塩酸(1→4)
5 50 mLを加えて振り混ぜ、時計皿で覆い、穏やかに15分間煮
6 沸した後、吸引ろ過する。残留物を熱湯で洗い、洗液をろ液
7 に合わせる。冷後、薄めた塩酸(1→4)を加えて正確に50 mL
8 とし、試料溶液とする。別に鉛標準液2 mLを正確に量り、
9 薄めた塩酸(1→4)を加えて正確に20 mLとし、標準溶液とす
10 る。試料溶液及び標準溶液につき、次の条件で原子吸光光度
11 法 (2.23) により試験を行うとき、試料溶液の吸光度は標準
12 溶液の吸光度より大きくない(10 ppm以下)。

13 使用ガス：

14 可燃性ガス アセチレン

15 支燃性ガス 空気

16 ランプ：鉛中空陰極ランプ

17 波長：217.0 nm

18